

平和

「平和」を今一度みんな考えてよう

戦後65年が経ち、戦争を知らない世代が人口の約8割を占め、戦争の悲劇は年々風化してきています。こうした中、私たちは戦争の悲しさを見つめ直し、平和の尊さを語り続けていかなければなりません。

市では、平成22年8月に市内の戦争体験者から体験記を募集し、戦争の歴史を記録する資料として、「市民が語る戦争体験記集」を発行しました。

また、同年12月には、核兵器の廃絶と恒久平和の実現を願う市民の総意として、「牧之原市核兵器のない世界を目指す平和都市宣言」を制定しました。

この度、世界平和と安全で安心な社会の実現に向けた気運をより高めようと、相良史料館開館30周年記念の特別企画展として「戦争遺留品展」と「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」を開催します。

「戦争遺留品展」は、市民の協力による当時の写真や戦地からの手紙など戦争関連品や知覧特攻平和会館の資料が展示されます。「ヒロシマ・ナガサキ原爆展」では、広島平和記念資料館などから

貴重な写真やポスター、記録映像などの提供を受けて展示、上映します。また、この特別企画展に併せ、鹿児島県南九州市の知覧特攻平和会館から戦争体験の語り部を招き、「市民のつどい」で記念講演会を開催します。

今一度、戦争と平和についてみんな考えてみましょう。

戦争遺留品展

開催期間 8月1日(月)～8月15日(日)

時間 午前8時30分～午後5時

会場 相良史料館 2階ホール

展示内容 一般公募の戦争関連品

展示、知覧特攻平和会館資料展示

入場料 無料

ヒロシマ・ナガサキ原爆展

開催期間 8月1日(月)～8月15日(日)

時間 午前8時30分～午後5時

会場 相良史料館 2階ホール

展示内容 ▼ヒロシマ・ナガサキ原爆写真パネル、ポスター展示 ▼

原爆や平和、被爆者の証言に関する記録映像、アニメの上映など

入場料 無料

問い合わせ 社会教育課 大関 ☎(53) 2646

市民のつどい

開催日 8月13日(土)

時間 午前9時30分～

会場 い〜ら ホール

第1部 市民のつどい

・主張作文表彰、発表

・牧之原市核兵器のない世界を目指す平和都市宣言

・人権啓発ミニ講座

・社会を明るくする運動

第2部 記念講演会

・記念講演

・市吹奏楽団演奏

・コールマリーン合唱

講師 知覧特攻平和会館

語り部 川床 剛さん

演題 「命の尊さと親子の絆」

*知覧特攻平和会館 太平洋戦争において、特攻作戦を実行した陸軍特別攻撃隊員の遺品や関係資料を展示している。

入場料 無料

定員 500人

主催 牧之原市、牧之原市教育委員会、牧之原市人権擁護委員、牧之原市社会を明るくする運動推進委員会



特攻勇士の像 「とこしえに」
 母の像 「やすらかに」

*2つの像は知覧特攻平和記念公園内にあり、父母を思い、永遠の平和を願い、国のために戦った青年と静かに見守るやさしい母親を表現している

防災

東日本大震災の教訓を必ず生かして「平成23年度 牧之原市総合防災訓練」を実施

問い合わせ 防災課 小林 ☎(23) 0056

ことしの総合防災訓練は、静岡県と牧之原市・島田市・吉田町・川根本町の共催により、東海地震を想定した訓練を実施します。本市では消防署、海上保安庁、自衛隊などが協力し、津波避難訓練の他、各関係機関と連携した訓練を実施する予定です。

牧之原市総合防災訓練実施計画

▼実施日 8月28日(日)

▼訓練の概要

「救助・救護・搬送エリア」……倒壊家屋からの救出訓練、搬送訓練
 榛原総合病院、旧細江保育園など
 「自主防エリア」……炊き出し訓練、給水訓練、資機材展示など
 相良小学校、小堤山公園など
 「海エリア」……津波漂流者の救出救助訓練、物資集積訓練など
 さがらサンビーチ、静波海岸など

午前5時50分	同報無線で訓練実施(中止)のお知らせ
午前8時30分	訓練警戒宣言発令・訓練開始 「サイレン」を5秒吹鳴・15秒休みを5回繰り返す
午前9時30分	訓練地震発生 「サイレン」を1分間吹鳴
正午ごろ	同報無線で訓練終了のお知らせ

気象庁が発表する「東海地震に関する調査情報」 *ことし3月に情報名称などが変わりました

気象庁では、東海地域に設置した観測機器により24時間、地殻の状況を監視しています。異常な変化が見られた場合、東海地震に関連する情報が発表されます。

■東海地震に関する調査情報(カラーレベル 青)
 東海地震に関する現象について調査が行われた場合に発表される情報

①定例 毎月の定例の判定会で評価した調査結果を発表
 ⇒防災対応は特になし

②臨時 観測データに通常とは異なる変化が観測された場合、その変化の原因についての調査の状況を発表
 ⇒防災対応は特になし
 ⇒国や自治体などでは情報収集連絡体制がとられる。

■東海地震注意情報(カラーレベル 黄)
 観測された現象が東海地震の前兆現象である可能性が高まった場合に発表される情報
 ⇒必要に応じ、児童・生徒の帰宅などの安全確保対策が行われる。
 ⇒救助部隊、救援部隊、消防部隊、医療関係者などの派遣準備が行われる。

■東海地震予知情報(カラーレベル 赤)
 東海地震が発生するおそれがあると認められ、「警戒宣言」が発せられた場合に発表される情報
 ⇒地震災害警戒(対策)本部が設置される。
 ⇒津波や崖崩れの危険地域からの住民避難や交通規制の実施、百貨店などの営業中止などが実施される。

景観

あなただけしか知らない市内の景観をみんなに知らせませんか
 第2回まきのはら景観写真募集します

問い合わせ 都市計画課 戸塚 ☎(53) 2633

市内には、豊かな自然景観や伝統を感じる歴史景観などが豊富にあります
 市民が景観への意識を高め、関

心を持ってもらうために、第2回まきのはら景観写真募集します
 市内の四季折々の景観写真を待っています。

応募内容 牧之原市内の自然景観や都市景観、歴史景観など
 応募期間 平成23年8月1日(日)～平成24年7月31日(日)(1年間)
 注意事項
 ・応募作品は1人3点までとします。
 ・応募作品の著作権は主催者に帰属します。
 ・応募作品や書類は返却しません。
 *応募方法や応募の注意事項の詳細は両庁舎や市内公共施設にある募集チラシを確認ください
 受賞 ▶景観賞 1点 ▶準景観賞 3点以内
 *副賞として、賞状と記念品が進呈されます。
 応募先 まきのはら景観写真募集事務局(都市計画課)
 〒421-0592 牧之原市相良275番地

第1回まきのはら景観写真 景観賞



受賞作品 「巨大庭園に囲まれた街」
 応募者 前田恵三さん(細江)
 受賞理由 日本一の茶産業を支える茶園と市街地が混然一体となっている景観が牧之原市を表すのに最もふさわしい。